

平成27年度第2回「木曾悠久の森」管理委員会

開催日時 及び場所	平成27年10月7日(金) 13:00～ 14:20 中部森林管理局 大会議室
出席委員	池田 聡寿 (池田木材(株) 代表取締役社長) 植木 建人 (信州大学 教授) 大浦 由美 (和歌山大学観光学部 教授) 大住 克博 (鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター 教授) 岡野 哲朗 (信州大学 教授) 座長代理 下嶋 聖 (東京農業大学短期大学部 助教) 杉田 久志 (森林総合研究所四国支所 産学官連携推進調整監) 野村 弘 (木曾官材市売協同組合 理事長) 早川 正人 (付知町まちづくり協議会 会長) 増田 今雄 (信濃毎日新聞社 編集委員) 山本 博一 (東京大学大学院 教授) 横山 隆一 (日本自然保護協会 参事) 管理委員16名中12名出席 五十音順
議 題	(1)第1回管理委員会審議事項 (2)木曾地域の保護林の設定に係る委員会について(説明) (3)「木曾悠久の森」管理基本計画(案) (4)その他
概 要	○ 山本座長不在のため、岡野委員が指名され座長代理をお願いした。 ○ 資料2～8についての修正意見 ・資料7の「木曾悠久の森管理委員会の役割分担(保護林の設定や管理方針等の検討は担当しない)」は、整理が不十分であるため削除し、今後の議論の中で検討することとする。 ・資料3の取組工程表では「これまでの調査・試験結果の整理」に振興部会も関わることとなっているが、資料4に明記されていないため整合性がない。試験結果の整理やモニタリング等の担当は植生部会となるため、「振興部会」を担当欄から除くこととする。 ・資料8の1ページの記載、「第3期」は「第3紀」に修正する。 ・資料8の6ページの記載、「⑧木曾悠久の森と保護林との関係性」は、3ページの「(2)木曾悠久の森の現況⑤森林の状況」の次の事項として記載する。 ○ 委員からの主な意見、質問等 ・取組工程表の平成29年度に第63回伊勢神宮式年遷宮伐採行事とあるが、どのようなことが予定されているのか。悠久の森の管理エリアから伐採することになるのか。 ・8月のワークショップでモニタリング調査に協力が得られそうなパートナーは見つかったのか。森林総研から協力してもらえそうか。 ・森林総研としては既に参画しているが、今後継続していくには予算の確保が重要。 ・現地見学会は、8月上旬に降った雨の影響で保存地域に入れなかったことから、天然更新の議論が中心となり、300年後の森作りをどうするかといった議論ができなかった。 ・資料7で、木曾地域の保護林設定検討部会が作成する「保護林管理方針書」と木曾悠久の森管理委員会が作成する「木曾悠久の森管理基本計画書」の違いは何か。 ・木曾悠久の森管理委員会は、保護林の設定、管理方針の検討について引き続き担当し、保護林設定部会も兼ねるべき。 ・木曾悠久の森の取組が先行し、他の地域でも同じような取組(復元)をできるようにするために、林野庁の保護林制度の通達が改正されたと理解してよいか。 ・木曾悠久の森の中の保護林の復元作業の検討は、復元部会でを行うのか。木曾悠久の森管理委員会で担当することができないのか。 ○ 事務局からの報告 ・「木曾悠久の森」管理基本計画(案)策定にあたり、19ページ以降に「木曾悠久の森」の現況についての図面及びデータを入れます。後日情報を提供するのでご意見等あれば次回管理委員会までに報告いただくようお願いいたします。